



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪③
花はす公園(南越前町)
- P2 すこやか講座
「認知症の早期発見・早期治療」
- P3 家族は今
「家族には、限界がある」
- P4 THE病棟
東病棟の環境づくりについて
- P5 デイケアだより
新体制・行事報告
- P6 トピックス
看護展・外来新体制
- P7 講演会案内
平成30年度研修案内
(一般研修)
- P8 平成30年度研修案内
(専門職研修)



すこやか講座

認知症は早期発見が大切、と言われていますが、
どうして早期発見が大切なのでしょう。

認知症の中には、発症を予防できるものや治療可能なものも中にはあります。しかしながら、治療可能な認知症でも治療が遅れば完全に症状は改善しません。また、残念ながら認知症の多くは根治が望めません。しかし、症状の進行を遅らせたり、適切に治療・ケアを行えば、部分的とはいえ症状を改善することは可能です。そのためには**早期発見と早期診断が極めて大切**です。「認知症？」と疑われたら、早めに医師の診察を受けましょう。一般的に認知症の診断を行うには、まずは認知症であるのかどうか、どのようなタイプの認知症であるのかを問診し、神経心理検査、血液検査、画像検査などを必要に応じて行い、その結果から推定していくことになります。認知症は異なるタイプの認知症が合併することもありますし、症状経過に伴い臨床診断が異なることもあります。

早期発見できれば治療可能な認知症

- **薬の服用等による認知症**…抗潰瘍薬・抗ヒスタミン薬・感冒薬などの服用で認知症と類似した症状が出現することがあります。原因となる薬剤の減量、中止により症状が改善する場合があります。
- **甲状腺機能低下症**…甲状腺ホルモンの分泌量が不足し、身体の活動力が低下します。それに伴い精神的な活動にも影響が及び、認知機能障害が現れてきます。治療は、薬によって甲状腺ホルモンを補充します。
- **ビタミンB1・B12欠乏症**…ビタミン類が欠乏すると、うつ症状、認知機能の低下・記憶障害・見当識障害など認知症と類似した症状が出現します。治療は、ビタミン類の補充となります。
- **慢性硬膜下血腫**…頭部打撲などダメージが加わることで、脳を包む硬膜と脳の間に血腫が形成されている状態で、早期発見できれば脳外科手術で治療することができます。
- **正常圧水頭症**…脳脊髄液の流れや吸収が阻害されることで、脳脊髄液が脳室にたまり、脳室が拡大して脳が圧迫される病気です。認知機能の低下やふらつき、尿失禁などの症状が出現します。早期に診断でき、一定の条件がそろえば脳脊髄液を排出する経路をつくるシャント手術が行われます。

認知症と間違われる症状や病気

- **うつ病**…記憶力、判断力が低下するため
- **難聴**…質問と関係ない返答になるため
- **脱水症状**…意識障害で幻覚症状等の状態になるため

家族は今...

「家族には、限界がある」

U・S

私の母親は腰と両足首を手術し歩けなくなり、車いすでの生活をするなり行動範囲が狭くなり少しずつ妄想がひどくなり、自分のお気に入りの服を自分で隠して、妻が盗ると言う様になり物を隠しては、騒ぐ事が多くなりました。10数年前から貴院に通院するようになり穏やかな日々を過ごしてきましたが、去年の暮れに、感染症で入院し、少しずつ昼と夜が逆転していき夕食後に薬を飲んでも夜中に薬をくれと騒いだり挙句の果てには、「殺せ」とか、歩けないのに玄関の段を降りて「川で死ぬ」と言い鍵を開けようとする等、家族は心配して眠れない事もありました。

それまで、おかしい状態は1週間位で治まっていたものが、大雪で介護施設に行けなくなったり、顔見知りの人が長く休むことになり、精神状態が不安定になり、おかしい夢を見て日中でも騒ぐ様になり、私も精神状態がおかしくなっていました。ある日母親が「お前は私の子か、こんな家にはいられんわ、死んでやる」とか「殺せ」とか大声で叫んで、私たち家族がこれまで一生懸命介護してきたのになんで通じていないのかと思い、母親の首を絞めようとした時に、妻が「何してるの」と言い私はびっくりして手を止めました。次の日に私は、ケアマネージャーに首を絞めようとしたことを言い相談に乗ってもらい、母親と私たちの距離を少しの間置く事をすすめられました。介護施設のショートステイを30日取ってもらい入所日を待って居たところ、ケアマネージャーからすこやかシルバー病院に連絡してあるから診察を受けるように勧められ入院する事になりました。

入院した頃は「誰が入れたんや私はどこも悪くはないわ。いつ退院するんや。」と言ったり「山で死んでやる」と言っていました。母は、妻には視線を合わせずに知らん顔をしていましたが、洗濯物を数回取りに行くうちに目付きが穏やかになり、妻に「ありがとう」と言い、帰る時は手を振って見送る様になり、私たちも穏やかな気持ちで帰る様になりました。他の患者さんが一時帰宅するのを見て「早く帰りたい」と言っていました。母も一時帰宅する様になりました。どうなるか心配しましたが、穏やかに家で過ごし、帰院の時間になる前には、玄関で私たちを待っていて「早く帰る」と言い、靴を履いていました。その言葉を聞いてもう退院する日が、近くなっていると思いました。母も88歳を過ぎ一緒に過ごす時間を大切にしたいと思います。

この度は色々な人に助けられ私もいい時が過ごせたと思いました。



The 病棟



東病棟の環境づくりについて～リニューアルしました!!～

今回も、院内研究の発表の一環で*PEAP(ピープ)を取り入れ、快適な温かみのある環境づくりをしました。前年度の研究結果から表された、『歩行動線に着目した環境づくり』『ゆったりと足を伸ばして過ごせるスペースづくり』『患者様の意見を取り入れた環境づくり』『患者様にとって馴染みのある物の配置』に着目して行いました。配置換えをしてから2週間くらいは、「私の場所はどこや?」「ここは私の場所や」などの声が聴かれていましたが、徐々に落ち着いてきました。

急に配置換えをすると、混乱することが予想されたので、前もって告知して行いました。また、テーブルや椅子に目印をつけて、患者様が混乱しないよう工夫しました。



家族の面会時や、入浴後の休息の場所としては最適です。



土・日は面会者が多いため、御家族でゆったりとした時間を過ごす場所としても利用されています。



患者様が好む場所を選択できるように、生活する患者様の意見も取り入れ、安全で充足した環境づくりを提供していききたいと思います。

*PEAP(ピープ)とは…施設に住まう認知症高齢者にとっての望ましい環境について、その考え方や具体的内容を示した指針。ケアの現場でどのような環境設定をすればよいのか考えたり、現状において足りないもの(考え方)や反対に優れている点は何か?を知ろうという指針。

デイ・ケアだより

デイケア行事

5月中旬にお菓子づくりを開催しました。新緑の季節にちなんだ抹茶を使ったお菓子や“たまには塩気のおやつが食べたい”との利用者さんの声から、ミニお好み焼きを作りました。

女性利用者さんはもちろんですが、手際の良い男性利用者さんも多数おられ、新たな一面が垣間見えるひとときでした。

電子レンジでできる

抹茶蒸しパン



男性陣も混ぜて
下さいました！



きれいな緑色の
生地ができました！



電子レンジ2分で
ふくらみました！



コーヒーと一緒に
いただきます☆

完成!!

～2種クリーム巻き～



やけどしない
ように慎重に
返します。



抹茶クリーム
づくり



いちごクリーム
づくり

完成!!



抹茶は香り良く、
いちごは程良い酸味で
美味しかったです☆

～ミニお好み焼き～



女性陣には具材を
切っていました！

男性陣には生地を
焼いていただきました！



完成!!



男性陣とスタッフで盛り付け☆
美味しく出来ました！

新 スタッフ紹介

6月の人事異動に伴い、西病棟から増田看護師長・松間作業療法士、地域連携室から山下精神保健福祉士がデイケア配属となりました。

新体制のデイケアをこれからもよろしくお願いいたします！



松間
作業療法士

増田
看護師長

山下
精神保健福祉士

トピックス

看護展



平成30年4月27日(金)10:00~14:00、当院外来ロビーで看護展を開催しました。今回の内容は血管年齢測定やハンドマッサージ、血圧測定、パネル展示などを行いました。血管年齢測定では、実年齢とはかなり差がある方や、年齢相応の方など様々でしたが、結果が出るたびに大盛り上がりでした。アロマオイルを使用したハンドマッサージでは、訪れた方と会話をしみつつ、癒しの空間を提供することができました。お茶やお菓子を振る舞い、普段とは違う雰囲気では外来ロビーは賑わっていました。



看護師
高松佳代

新しい外来ナースです!!

6月から外来看護師として勤務することになりました高松佳代です。今まで14年間病棟での勤務をしてきました。外来と病棟での仕事内容があまりに違い過ぎてとても戸惑っています。が、検査や診察において患者さんやご家族の不安や苦痛を軽減できるよう努めたいと思います。



福井県立すこやかシルバー病院講演会

講師プロフィール

ペコロスの母に会いに行く

～認知症の母から教わったこと～



「初出：ペコロスの母に会いに行く」

日時

平成30年10月20日(土)
14:00～16:00

会場

福井県生活学習館 (ユニーアイふくい)
多目的ホール [福井県福井市下六条町14-1]

講師

岡野 雄一氏 (漫画家、認知症介護経験者)

入場無料

事前申込を
お願い致します

岡野 雄一 (おかの・ゆういち)

1950年長崎市生まれ。20歳で上京、出版社に勤務し漫画雑誌編集。40歳で長崎に戻る。長崎ではタウン誌の編集長などを経て、フリーライターに。認知症を発症した母の事を描いた漫画をまとめた自費出版本がfacebookや口コミで話題が広がり、単行本『ペコロスの母に会いに行く』(西日本新聞社)出版。第42回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞。この漫画を原作とした映画『ペコロスの母に会いに行く』は、第87回キネマ旬報ベスト・テン一位受賞。現在、西日本新聞と『週刊朝日』(朝日新聞出版)にて連載中。2014年母光江死去。91歳。老衰。

『ペコロスの母に会いに行く』『みつえばあちゃんとボク』(西日本新聞社)、『ペコロスの母の玉手箱』『ペコロスの母の贈り物』(朝日新聞出版)、『ボケて幸せな生き方:「ペコロスの母」に学ぶ』『ペコロスのいつか母ちゃんにありがとう』(小学館新書)。平成30年1月19日新刊『ペコロスの母の忘れもの』(朝日新聞出版)発行。

長崎市在住、68歳。講演会では岡野雄一さんが介護体験などを講演。誰にとっても無縁ではない認知症や、認知症の人の世界について考え、理解を深める催しとなっている。ペコロスとは小さなタマネギ。自分の頭に似ている事から、ペコロスを自称。

申込方法

①はがき

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
〒910-3623 福井市島寺町93-6

福井県立すこやかシルバー病院

までお送りください。

②FAX

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
FAX.0776-98-2793 までお送りください。

③電話

TEL.0776-98-2700



平成30年度【8月～】

福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加費
無料

一般の方を対象にした研修

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

一般研修はお電話でお申込みできます。お名前(フルネーム、漢字)、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	8月31日(金)	13時30分～15時	●認知症の危険因子 ●脳を鍛える対策 ●心と体を元気にする活動、実演	松間香織作業療法士	50名
高齢者の食事援助	9月21日(金)	13時30分～15時	●高齢者の特徴 ●食事の姿勢について ●食事介助の注意点 ●食べやすい食事の工夫	福井総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 片岡亜季子氏	50名
高齢者の口腔ケア	9月28日(金)	13時30分～15時	●口腔ケアの重要性について ●口腔ケア物品の紹介 ●口腔ケア時の介護のポイント	福井県歯科医師会 歯科衛生士 宮本美紀子氏	50名
認知症の基礎知識と対応	10月12日(金)	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者の介護のポイント	吉岡郁子看護師	50名

11月以降の研修については、リニューアルライフすこやか秋号に掲載予定です。

平成30年度【8月～】 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加費
無料

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2 階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。
定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症高齢者の転倒予防	8月24日(金)	13時30分～16時30分	●認知症の症状と転倒、認知症高齢者の転倒の特徴、転倒予防について	金沢大学医薬保健研究域保健学系看護学領域 教授 加藤真由美氏	70名
独居生活の認知症高齢者の援助	8月29日(水)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者が独居生活を継続する上で必要な援助	兵庫医療大学看護学部 助教 久保田真美氏	70名
中等度・重度認知症高齢者の自己決定の機会提供	9月3日(月)	13時30分～16時30分	●中等度・重度認知症高齢者の日常生活行動の自己決定を支える援助	県立広島大学保健福祉学部 講師 渡辺陽子氏	70名
介護職員のメンタルヘルス	9月5日(水)	13時30分～16時	●介護職員のストレスを予防・低減するための方法	新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 准教授 柳澤利之氏	70名
高齢のうつ病の方、眠れない方のケア	9月7日(金)	14時～17時	●高齢のうつ病の方、眠れない方に対する具体的な対応方法	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
認知症高齢者の収集に対する援助	9月10日(月)	13時30分～16時30分	●認知症高齢者の収集行動の意味、特徴、援助	県立広島大学保健福祉学部 講師 渡辺陽子氏	70名
精神科薬物療法の知識	10月2日(水)	14時～15時30分	●抗認知症薬、抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬の作用、副作用	村田憲治診療部長(医師)	70名
認知症介護家族に対する援助	10月3日(木)	13時30分～16時30分	●在宅介護を継続するための介護家族へのアプローチ、身体的、精神的負担軽減のための支援	一般財団法人 仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名
認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	10月5日(金)	14時30分～17時30分	●BPSD(行動・心理症状)の理解、原因と理由の観察 ●暴言、暴力、介護拒否に対するケア	NPO法人 認知症ケア研究所 統括管理者 高橋克佳氏	70名
高齢者の睡眠改善に向けたケア	10月10日(水)	13時30分～16時30分	●高齢者に多く見られる睡眠障害とその要因、睡眠障害の改善に向けたケア等	福井県立大学看護福祉学部 准教授 笠井恭子氏	70名
パーソン・センタード・ケアを現場に生かす(その人を中心とした認知症ケア)	10月24日(水)	13時30分～16時30分	●パーソン・センタード・ケアについて ●認知症をもつ人の立場に立つ演習、ロールプレイ ●認知症ケアマッピングの紹介	NPO法人 パーソン・センタード・ケアを考える会 代表 村田康子氏	60名
介入者の表情が認知症高齢者に与える影響	10月26日(金)	13時30分～16時30分	●認知症の方に対し笑顔で関わることの重要性について	佛光大学保健医療技術学部 准教授 白井はる奈氏	60名
認知症高齢者ケア(アセスメント)	11月2日(金)	14時～16時30分	●BPSDの原因を探るため、身体的要因、社会的心理的要因、中核症状の状況、周囲の環境等、アセスメントの視点について知る	荒井岐枝 認知症看護認定看護師	70名
認知症をもつ方を支える作業療法	11月16日(金)	13時30分～15時	●認知症高齢者の作業療法の実践方法、注意点	下口さゆり作業療法士	70名
高齢の統合失調症の方、せん妄の方のケア	11月20日(水)	14時～17時	●高齢者の統合失調症(妄想性障害を含む)の症状とケア、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症との相違点 ●せん妄の症状、要因、ケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
認知症の方とのコミュニケーション	11月26日(月)	14時～16時30分	●認知症の方の特徴、心理状態 ●認知症の方とのコミュニケーションのポイント	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	50名
認知症の方とのコミュニケーション	11月27日(火)	13時～15時30分	●認知症の方の特徴、心理状態 ●認知症の方とのコミュニケーションのポイント	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	50名
認知症高齢者の転倒予防	11月28日(水)	13時30分～16時30分	●認知症の症状と転倒、認知症高齢者の転倒の特徴、転倒予防について	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター専任教員 梅原 里実氏	70名
認知症高齢者の終末期ケア	11月30日(金)	13時30分～16時30分	●人工的な水分・栄養補給の考え方、本人・家族の意思決定について ●認知症その人らしく生きるための希望、意思の尊重 ●認知症高齢者の身体や心の苦痛に対するケアのあり方	畿央大学 健康科学部看護医療学科 教授 山崎尚美氏	70名

12月以降の研修については、リニューアルライフすこやか秋号に掲載予定です。
当院ホームページ(介護教育のご案内)でもご確認いただけます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700